

社会福祉法人 溪明会

令和5年度事業計画・予算書

事業計画 P 1～ 5

予算書 P 6～13

基本理念

私たちは、誰もが一人の人間としての尊厳に満ち、社会の一員として、その人らしく、豊かで実り多い人生を送れるよう支援します。

基本方針

- 1 人権を尊重し、一人ひとりがかげがえのない存在として大切にします。
- 2 利用者の声に耳を傾け、自ら選択、決定したことを尊重します。
- 3 利用者が地域の中で生活していくための、自立の向上と社会参加を支援します。
- 4 個々のプライバシーを守り、安心した生活を送れるよう配慮します。

令和5年度事業計画

1. 事業運営方針

作成中である第3次中期経営計画（令和5年度～7年度）を運営方針の柱として法人の基本理念の実現を目指します。

「挙国（CO-9）一致」をキーワードに掲げ取り組んでいきます。

国：①法人本部、②溪明園からまつ/あすなる、③溪明園めるへん/ホームやつわ、④ホームごごみ/きつずる一むごごみ、⑤花椿きらめき/あおぞら、⑥花椿かがやき/ホーム柴田屋、⑦障害者サポートセンターきらり、⑧きつずる一むクローバー、⑨砺波圏域障害者基幹相談支援センター

溪明会は、「性別及び年齢、人種や国籍、障害の有無を問わず、全ての人が協力（COLLABORATE）しながら共存（COEXIST）する地域社会（COMMUNITY）を目指します。その為に、私たちは、積極的（CONSTRUCTIVE）に行動（ACTION）を起こし、地域や関係機関と調整（COORDINATE）を図りながら連携（CORRELATE）し続ける（CONTINUE）ことを約束（COMMIT）」します。」

また、課題とされる老朽化した施設の再整備の検討推進、利用者の高齢化への対応や地域への貢献し、将来的に安定した経営ベースを強化していきます。

更に、各種研修等による専門スキルの向上を図り、優れた人材を育成することで利用者の満足度を高めます。

2. 重点取組方針

法人及び事業所の具体的な取り組みを下記の通り行う。

1) 法人

中長期的な施設、設備整備に向けて取り組みを行う

今後の安定した施設運営及び経営基盤の充実を図るため、必要な施設整備及び設備更新について、中長期的なビジョンで計画的に推進する。

- (1) 溪明園からまつあすなる再整備
- (2) 高齢者等対策
- (3) 中長期的な施設維持のための設備等整備

2) 本部室

1. 迅速かつ適切な採用活動

- ・ 相応しい福祉人材を迅速に採用

2. 労務管理システム導入の検討

- ・ ペーパーレスによる業務効率化
- ・ 適正な人事労務管理

3. 溪明ロードの実践

- ・ 溪明ロードの計画的な実施による制度の確立
- ・ 評価者研修（合議）の実施による評価者の意識と評価スキルの向上

3)障害者支援施設 溪明園からまつ

1. 感染を予防し、一人ひとりが安心かつ安定した生活を実現するための環境整備
 - ・男性、女性それぞれの利用者が安心し落ち着いて生活できる環境を整える。
2. 健康づくりの増進
 - ・散歩等で自然に接しながら心身の健康を図る。
3. 夜間スタッフと支援員等との連携の強化
 - ・夜間スタッフとの支援に関する話合いの場を設け、支援の質を高める。

4)障害者支援施設 溪明園あすなろ

1. 「私たち抜きに私たちのことを決めないで！」意思決定支援の強化
 - ・「私たちのことを私たち抜きで決めないで」が合言葉となった、国際連合の人権条約をふまえて、利用者の意思や要望に耳を傾け、日々の支援や行事等に反映させる。
2. 健康状態の情報共有化と心地よい居住空間づくり
 - ・ICT介護「眠りスキャン」を活用して、体調不良に伴う呼吸数や心拍数の増減をいち早く発見し、状態の変化に気付き、迅速かつ適切な対応を目指す。
3. 感染症に適切に対応した事業所の仕組みづくり
 - ・新型コロナウイルスの分類変更により、更なる集団感染リスクの高まりが予想されることから、予防と拡大防止の仕組みを再構築する。

5)多機能型事業所 溪明園めるへん

1. 新たな商品への取り組み
 - ・新たな商品の開発・市場の開拓・顧客の獲得により、新たなイメージを創生し、めるへんのブランドを確立する。
2. 生産活動の提供
 - ・生産活動の機会を通して働く楽しさ喜びを意欲の向上に繋げる。
 - ・労働の対価を本人支給金に繋げる。

6)ホームやつわ、ホームあやこ、ホームいするぎ

1. ホーム支援の充実
 - ・更なる生活支援を可能とする体制づくり
 - ・ホームで事務等業務が出来る環境づくり
2. 住みやすい環境の整備
 - ・高齢利用者が安全・快適に過ごせるようホームの改装・改修を行う。

7)日中サービス支援型ホームごごみ

1. 職員の介護技術習得、医療機関との連携強化
 - ・職員の知識、技術を高め、重度高齢の利用者への質の高いサービスを提供する。
2. 生活環境の整備・改善及び利用者活動の充実

・安心できる生活環境を整備し、活動の充実を図り、質の高いサービスを提供すると共に、職員の業務負担軽減を図る。

3. 業務環境等の改善

・環境の整備による業務の効率化、休憩スペース確保等を行い、職員の負担やストレスの軽減を図る。

4. 重度・高齢者対応への職員体制づくり

・必要な専門職等の人的環境（職員配置）を整備し、ニーズに対応したサービスを提供し、支援の充実を図る。併せて、支援体制を整備し、安全面に配慮した質の高いサービスを提供する。

8)放課後等デイサービス事業所きつずるーむごみ

1. SST（ソーシャル・スキルトレーニング）を用いた支援による対人関係や社会生活力の向上を図る。

- ・社会的なルールやマナーを学ぶ。
- ・セルフコントロールを身につける。

2. 送迎の安全確保と充実を図る

- ・小矢部市内全域の送迎を可能にする

3. 活動場所の環境を整える

- ・利用者が安心・安全に活動参加できるよう配慮する

4. 利用者にリラクゼーションの時間を提供する

- ・スヌーズレンルームの有効活用

9)障害者支援施設花椿きらめき

1. 生活様式の見直し

- ・個々の衣・食・住の生活場面における課題を抽出しその課題に対して、「自分の事は自分です」意識を促す（衣類整理、歯磨き、食事、排泄等）。
- ・コロナの類型変更に伴い支援プログラムを修正する。

2. 個別ニーズに応じた多様な活動をとおして、心身のリフレッシュ並びに健康を維持・増進する。

- ・運動不足及びストレスの解消を目的に、レクリエーション活動や軽運動、ゲームを通じて楽しみながら運動不足を解消する。

3. 季節感を感じられるゆとりのある豊かな通所生活支援。

- ・個々の課題に取り組みながらも、季節のうつろいを肌で感じられるようゆとりのある豊かな生活を支援する。

10)障害者支援施設花椿あおぞら

1. 利用者の声に耳を傾け「自己選択」「自己決定」によるメニューの提供

- ・利用者のニーズに応じたプログラムを実施することで、情緒の安定を図り、コロナ等によるストレスを解消する。
- ・職員会議などで利用者個々の障害特性に応じた意思決定の在り方について協

- 議し、統一した支援をする。
- ・利用者の要望に耳を傾け、五感により季節の移ろいを感じられるような行事を企画する。
2. オール花椿(利用者職員全員参加)による商品づくり-販売を見込んだ計画的生産-
 - ・委託生産者と恒常的に連絡をとり、委託作物の生育状況を直接目で確かめ、適期に収穫、購入する。良質な商品を作り、リピーターを増やし売上増加に繋げる。
 3. 安定した通所サービス(活動プログラム)の提供
 - ・強度行動障害や情緒不安定の方が多く、落ち着いて活動するために個室を利用したり日々の活動プログラムなどを事前に伝えたりしながら支援し、自立課題に取り組む。

1 1)多機能型事業所花椿かがやき

1. 安心・安全・安定した商品の提供と新商品の開発
 - ・キッチンかがやきの弁当を様々なツールを使ってPRしていく。
 - ・高齢者にも優しい、こし味噌を製造し、販売促進に繋げる。目標数量 60 kg/月産製造(製造期間4か月間)
2. 地域関係機関との連携を強化
 - ・創作活動の強みを活かし、地域連携を促進する。
 - ・ボランティア、地域の方々との関わりに新たなスタイルを取り入れて充実させていく。
3. 利用者の活動の充実とQOL向上の取り組み
 - ・高齢利用者のフレイル予防に取り組む。
 - ・多様なニーズに合わせた支援の質の向上。

1 2)ホーム柴田屋、ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第2

1. 体験メニューの拡充及び地域支援生活拠点事業の検討
 - ・体験メニュー素案作成/通年
2. 障害特性に合わせた支援プログラムの見直し
 - ・発達障害者の特性について研修会を実施
 - ・ケース検討の実施/毎月
3. with コロナに合わせた生活スタイルの構築
 - ・ホーム内のできる娯楽・癒し時間の提供

1 3)障がい者サポートセンターきらり

1. アセスメントの強化
 - ・相談支援におけるアセスメント様式の見直し
2. 地域関係機関との連携を強化
 - ・地域生活支援拠点等事業所としての運用や体制の整備
3. 就労アセスメントの強化

- ・就労能力や適性を客観的に評価するとともに、本人の強みや課題を明らかにする就労アセスメント強化に向けて、外部研修、専門機関からの助言を行っていく。

4. 地域関係機関との連携を強化

- ・障害者の就職件数増加に向けて新たな職場を開拓する取り組みを行う。

14) 放課後等デイサービス事業所きつずる一むクローバー

1. プログラムの充実

- ・お子さんの個々の成長に合わせたプログラムについて職員で検討を重ね、必要に応じて新たなプログラムや外部講師の依頼を検討する。また、安定したプログラムを提供する。

2. 利用ニーズに合わせた今後の展望

- ・利用希望ニーズに応じた今後の放課後等デイサービス事業所の運営について、施設設備、定員、職員配置等について課題を整理し検討する。(9月報告予定)

15) 砺波圏域障害者基幹相談支援センター

1. 溪明園再整備事業に対する砺波圏域からの支援

- ・砺波圏域3市の第7期障害福祉計画への溪明園再整備事業の記載

2. 地域関係機関との連携を強化

- ・砺波地域障害者自立支援協議会を通じた圏域内事業所及び関係機関との連携強化

3. 溪明会ブランドの確立

- ・砺波圏域地域生活支援拠点等の整備・運営の推進

令和5年度 資金収支予算書

社会福祉法人 溪明会